

オリンピックの誕生と理念

真田 久

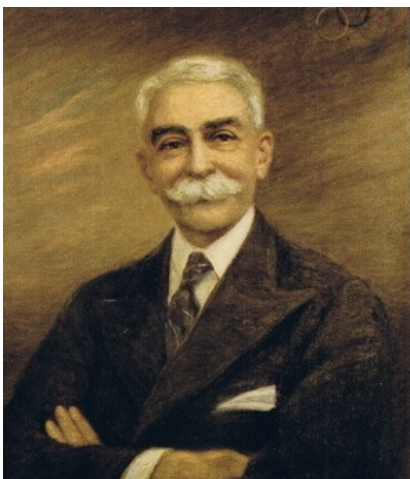
1. ウェンロック・オリンピック (1860～)
2. ギリシャ・オリンピック (1859～)
3. 近代オリンピック (1896～)



1

1

ピエール・ド・クーベルタン (1863～1937)



フランス人、貴族、教育思想家

- ・ 1863.1.1パリで生まれる
〈1870-1871 プロイセンと戦争〉
- ・ 1894 オリンピック復興決議 (31歳)
- ・ 1896-1925 IOC会長 (33-62歳)
- ・ 1937.9.2 逝去 (74歳)

2

2

ウェンロックオリンピックを称賛

“オリンピックが今日残っているとすれば、それはギリシャ人ではなく、ブルックス博士に帰せられる。40年前にオリンピックを始め、82歳になっても注意深く、精力的に組織し、広げようとしている”

(クーベルタンP. マッチウェンロックのオリンピック競技.
La Revue Athletique 12, 1890)

3

3

1. ウェンロック・オリンピック (1860~)

1-1. W. P. ブルックス

1809: W.P.ブルックス、マッチウェンロック
に生誕

1831: ロンドンで医学を勉強し帰郷
労働者の子供たちの健康に関心
(運動、ゲーム、体操)

1841: 農業読書協会設立
(植物、地質、音楽、体育の図書)



ウィリアム・P・ブルックス
1809-1895

4

4



現在のマッチウェンロック図書館

5

5

1-2. オリンピッククラス

- 1850より競技会
戸外レクリエーション奨励
運動の技能と知的・職業的能力を競う
- 近郊の住民、特に労働者の
道徳的、身体的、知的な面
での改善を促進

1850: オリンピアクラス
10月に第1回競技会

1860: ウェンロック・オリン
ピア協会設立

6

6

競技会の種目

• 第10回競技会の種目 (1859年)

競走 (~10、11~14、15歳以上)
 クリケット、フットボール、輪投げ、
 幅跳、高跳、障害走、弓、槍投、馬上
 槍投試合、一輪車、鈴鳴らし
 (伝統的な遊び)

- 5シリング-10ポンドの賞金
- 酒酔や過ちを犯した者
 1- 5シリングの罰金



リンデン・フィールド

7

7

1-3.ウェンロック・オリンピックの開催

- オリンピアフィールドに改名
- 1859: 槍投げを導入
- 1868: **五種競技**
 (綱登り、走幅跳、走高跳、カ石、
 障害走)
- 1869: **少年五種競技**
 (地理、文法、歴史、作文、綴り)
- 1870: **オリーブの葉冠**が五種競技
 の賞に

↑ ↑

1859にギリシャと交流

アマチュア五種競技

(440ヤード走、障害走、立幅跳、
 槍投、ハンマー投)
 NIKEの肖像の銀製メダル

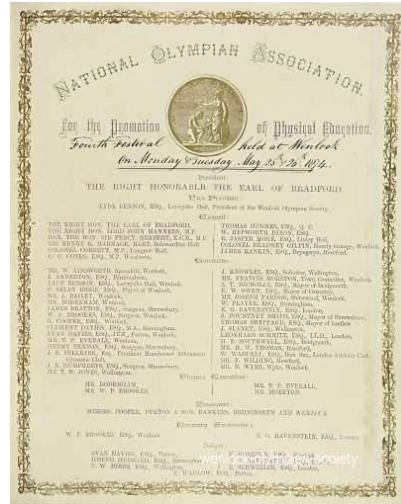
8

8

英国オリンピック競技会

1865:英国オリンピア協会設立
 1866:第1回英国オリンピック競技会
 (クリスタルパレスにて)

- ・都市持ち回り
- ・国際競技会を目指す
- ・知的面にも配慮
- ・運営委員会を設ける



英国オリンピック競技会プログラム 9

9

国際オリンピック競技会の展望

英国オリンピック競技会の開催

- 1866年 (ロンドン)
- 1867年 (バーミンガム)
- 1868年 (ウェリントン)
- 1874年 (ウェンロック)
- 1877年 (シュルズベリー)
- 1883年 (ハドレイ)

1877:ギリシャ王、
銀杯贈呈

1881:アテネにて国際大会
開催計画

- ・ギリシャでも発表
- ・最終的に実現せず



銀杯

10

10

1-4.クーベルタンの関わり

- 1883 パブリックスクール訪問
- 1890 ウェンロック視察し植樹. 古代の伝統に賞賛
- 1891 賞としてメダルを贈与
ウェンロック協会名誉会員
- 1892 オリンピック復興提案
- 1894 オリンピック復興会議の案内、
高齢のためブルックス欠席
- 1895 ブルックス逝去
- 1896 第1回大会（アテネ）



クーベルタン寄贈メダル



植樹した樅の木

11

11

2.ギリシャオリンピック (1859~)

2-1.大会の概要

第1回ギリシャオリンピック

1959年10月

アテネ市内の公園



E.ザッパス
1800-1865

運動競技（市内の公園）

- スタディオン走（短距離走）
- ディアウロス走（往復走）
- ドリコス走（7往復走）
- 跳躍
- 円盤投
- 槍投

オリーブの葉冠、小枝、賞金

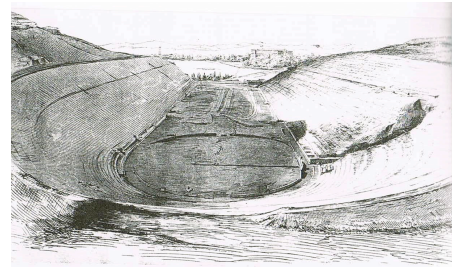
12

12

第2回ギリシャオリンピック(1870)

- 運動競技：競走、幅跳、三段跳円盤投、槍投、レスリング、マスト登、ロープ登
- パンアテナイ競技場の復興（古代との接点）
- 目的

産業の発展、身体的活力、知性と芸術（ミューズ）への敬意による社会の発展



パンアテナイ競技場復元図

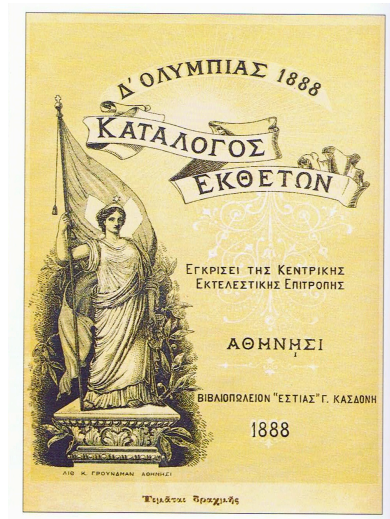
13

13

2-2.産業と芸術競技

- 産業製品10部門80分野
- 芸術部門設置
彫刻、絵画、建築、詩歌、音楽

受賞者L.ニキフォロス
アテネ大会1896のメダルをデザイン



産業・芸術展示の目録

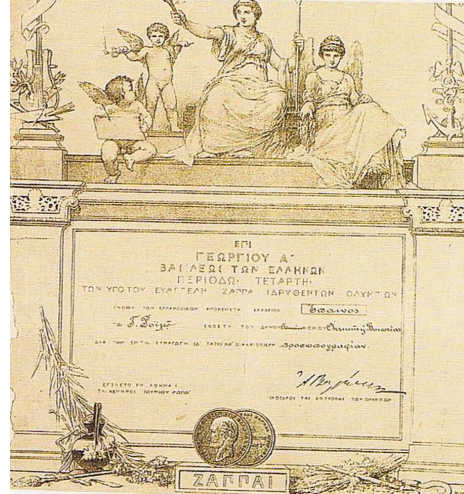
14

14

第3回ギリシャオリンピック(1875)

運動競技 (パンアテナイ競技場)

- 三段跳、幅跳、レスリング、円盤投、槍投、棒高跳、ポール登り
- 17 歳以上の教育機関の学生
- エジプト、トルコ、チェコに住むギリシャ人も参加



賞状

15

15

産業と芸術競技

- 産業製品競技
16部門95分野
- 建築 (図面)、 絵画 (油絵と水彩画) と彫刻 (彫像の模型と写真)
彫刻：ミュンヘン在住ギリシャ人
- 音楽：楽器の製作と作曲
功労者の詩を作曲
- 身体教育の部門が設置
学校での健康面の計画
体育に関するもの
娯楽や余暇のための作品
- 詩歌：開会式で朗読

16

16

メダル



第3回ギリシャオリンピックのメダル (1875年)



第4回大会の運動競技出場者 (1899年)

17

2-3.ギリシャオリンピックの特徴

理念

- 国外ギリシャ人も参加→全ギリシャ的
= 古代オリンピックの復興
- 産業製品を競技に
- 古代は戦争終結による平和の証として
ゼウスに捧げた
- 国家の産業振興を掲げた産業製品展示
と運動競技
- 1870～競技祭の目的
 - 産業振興
 - 身体的な活力
 - 知性と芸術の崇拝
 - 社会の発展

18

・産業製品競技の発展

- 「ミューズの崇拜」に基づき、第2・3回競技祭では
 芸術競技（建築、絵画と彫刻）が産業製品競技に
- 音楽や詩歌競技も実施
 産業製品競技から芸術競技が徐々に形成され発展
- 第2回の産業製品競技では「市民の道徳的,身体的改善」の部門が設置（1870）
- 第3回では,市民の身体的教育,各学校における健康面の計画など,体育や健康に関する産業製品が拡大（1875）
- 第4回では,体育クラブの計画,体育授業の方法などが産業製品競技の中に加えられた. 教育現場での体育や健康に関する産業製品が充実(1888)

19

19

3.近代オリンピックの創設

3-1.パリ・アスレチック会議（スポーツ国際会議）

1894.6.16-24：パリ大学 ソルボンヌ大講堂

- 会議の名目：アマチュアとプロ
- 参加者：49のスポーツ組織代表など2000余名
- 2つの部会：アマチュアの課題
 オリンピックの復興

20

20

第一部会：アマチュアについて

- 競技の参加資格：アマチュア

プロ選手や賞の獲得を目指した競技者は、
アマチュアではないので参加不可
機械工、手工者、労働者なども参加不可

アマチュアとプロの線引き：極めて難しい
体育教師、車夫、郵便局員、アルバイトは？

21

21

第二部会：オリンピックの復興

6/19の議事

第1回大会の開催年と都市

クーベルタン案 : 1900年パリ

他の委員 : 1896年ロンドン

クーベルタン修正案 : 1896年アテネ
開催地は保留に

22

22

6/23

ギリシャ王、大会開催受諾の電報を送る
ビケラスのアテネ招致演説

ク・ビケラス案：1896年アテネ 可決

初代IOC会長にビケラス、事務局長にクーベルタン
(次期大会開催国より会長)

23

23

クーベルタンがオリンピックで目指したもの (オリンピズム)

- スポーツにより、精神、身体と知性の調和のとれた若者を育成
- 異なる国の人々とスポーツを行うことで、相手を尊重し、異文化や考え方を理解
- スポーツでよりよい人間が増えれば、社会や国、世界がよくなる ⇒ 平和でよりよい世界の構築

1894 オリンピック復興を決議

24

24

3-2.第1回大会（アテネ1896）の準備

第1回大会（アテネ1896）の準備

ギリシャ政府の財政支援なし

王室の関与 コンスタンティノス皇太子

組織委員会結成 1895.1

クリサフィス、フォキアノスなどギリシャオリンピック関係者の活躍

海外ギリシャ人の寄金（アベロフ 92万ドラクマ）

記念切手:40万ドラクマ売上 入場券20万ドラクマ

25

25

アテネ1896大会の開催

- 1896.4.6 – 4.15
- パンアテナイア競技場
- 水泳、陸上、フェンシング射撃、自転車、体操、テニス、重量挙げ、レスリングの9競技 43種目
- 14ヶ国241人



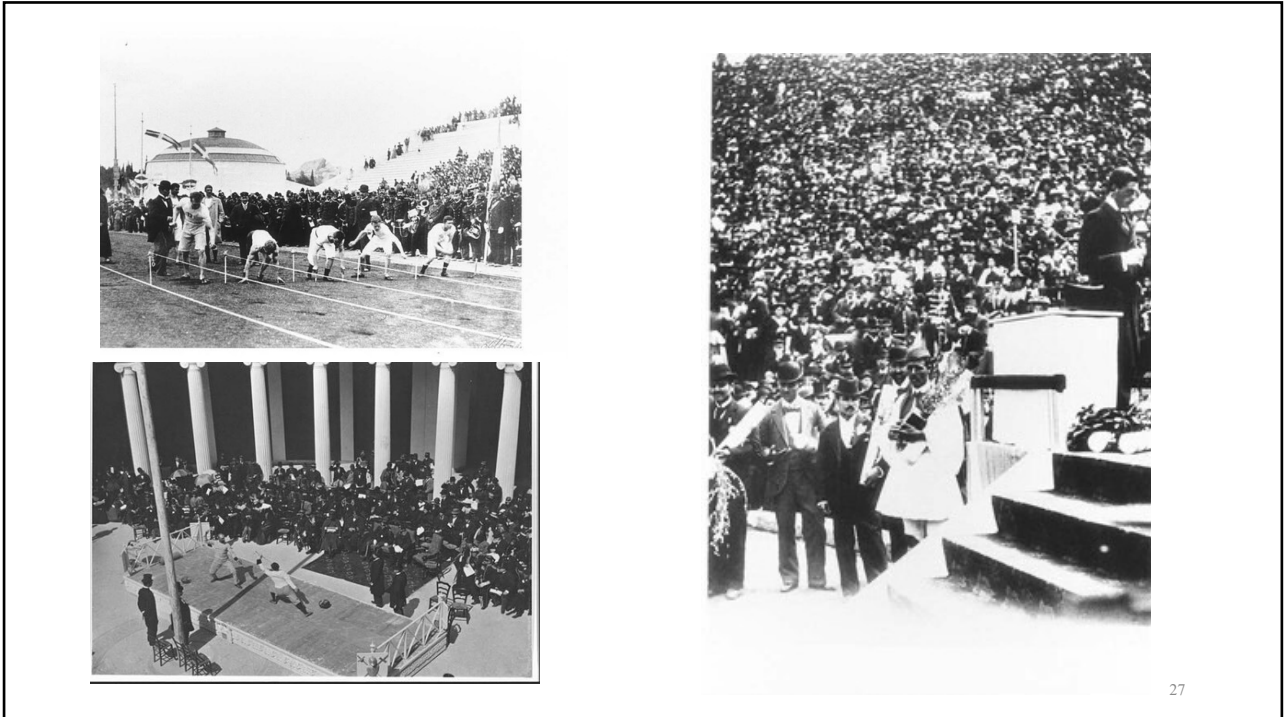
パンアテナイア競技場



ポスター

26

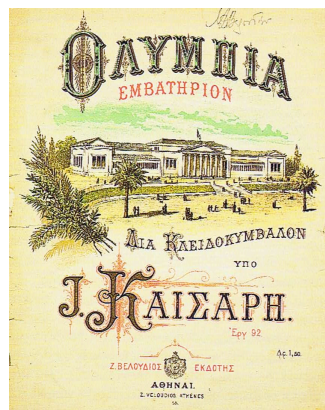
26



27

3-3.ギリシャオリンピックの関連

- 優勝者：銀メダルと
オリーブの小枝
- 準優勝：銅メダルと月桂冠
- 音楽競技：楽団のコンクール
悪天候で演奏行進に
- 閉会式で詩の朗読
- 古代劇が市内劇場で上演



1896 第1回大会での行進曲



メダル

28

28

まとめ

【近代オリンピック誕生の背景】

- ウェンロック・オリンピックとギリシャ・オリンピックの関わり
- 前者は市民の運動技能と知的・道徳的向上と地域社会の発展、
- 後者は産業、身体の活力、芸術による社会の発展
- クーベルタンは身体、意志、精神の統合による平和な社会への貢献

オリンピックに求めた理想



個人の知徳体及び芸術との
統合的向上による
社会の発展

29

29

参考文献

- ジョン・J・マカルーン：オリンピックと近代：評伝クーベルタン.平凡社, 1988
- 小石原美穂：クーベルタンとモンテルラン：20世紀初頭におけるフランスのスポーツ思想.不昧堂出版,1995
- 日本オリンピック・アカデミー監修 伊藤敬訳:ピエール・ド・クベルタン
オリンピック回想録.メディアパル, 2021
- 真田久：19世紀のオリンピア競技祭. 明和出版, 2012

30

30